

農業生産日本一北海道に学ぶ

～アジア・中東の野菜普及指導員が北海道を視察します～

国際協力機構筑波センター（JICA 筑波）が実施する「小規模農家の生計向上のための野菜生産技術」コースに参加するカンボジア、ラオス、インド、ネパール、イラク、イエメンの研修員が6月26日（水）・27日（木）の2日間、ニセコ町、倶知安町、京極町、恵庭市を訪問します。

視察では、JA ようていの堆肥製造を見学し、肥料、土作りから出荷までのJAの役割を学び、地元生産者とも交流予定です。また、JGAP 認証を受けて食の安全や環境保全、持続的な農業経営を実践している余湖農園も訪問予定です。

研修員は主に小規模農家に指導を行う普及職員で、化学肥料や農薬の使用がきびしく制限された地域の普及員も参加しており、北海道で推進されるクリーン農業にも強い関心があります。開発途上国でも食の安全・安心や品質の高い農産物への注目が高まる中、環境に配慮した生産を行う農家、そして肥料の生産から出荷までを担い消費者と農家をつなぐJAの取組みから、自国へ応用できるヒントを多く得られることが期待されます。ぜひ取材をご検討ください。



茨城県つくば市のJICA筑波で栽培技術を身につける実習を行っている研修員。日本の食を支えるダイナミックな北海道農業から、農家を支える農政、栽培・出荷・流通・加工の流れを学ぶのは貴重な経験となります。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA筑波センター 研修業務課 倉林 美和
TEL : 029-838-1744 e-mail : Kurabayashi.Miwa@jica.go.jp
可能な限り事前の連絡をお願いいたします。

訪問スケジュール（取材可能日程）

日付	時間	研修内容・場所
6月26日	10:00~12:00	牛糞・食品残渣堆肥製造工程見学 JAようてい（倶知安町）
	13:00~14:00	ニンジン栽培農家、バレイショ栽培農家訪問（JAようていニセコ支所管内：JAによる案内）
	14:30~15:30	道の駅名水の郷きょうごく（京極町）
	15:30~	支笏湖見学後千歳駅前ホテルへ移動
6月27日	9:00~12:00	「JGAP認証農家のアグリツーリズム等による付加価値化」食品加工体験 余湖農園（恵庭市）